

## 第 72 回山形県自作視聴覚教材コンクール 全体講評【社会教育部門】

本年も多くの熱意溢れる教材に出会うことができた。特に紙しばい作品独特の観客を惹きつける力には改めて感動させられた。地域や自然文化などをテーマとしたものが多く、後世に残したい歴史や郷土愛を育もうとする作品に教材性の高さを感じた。全体的に画力や技術も高くなってきていると感じる。また、作品を視聴する対象を意識して物語の構成も工夫されている。今後、出品された作品が、教材として広く活用されることを期待したい。一方で、全体的に紙芝居のサイズがもう少し大きいと見やすくなるのではないかと思われる。

昨今、紙しばい以外の作品も増えてきている。映像作品は地域の伝承活動や伝統技術を残そうとするものであり、地域教材、歴史教材として学校教育の中でも活用できると思われる。また、パズルの作品もあり、新たな分野にチャレンジされたことも今後の作品応募につながるものとして期待する。様々なデジタル技術が一般化し、多くの人々が使用できるようになった現在、視聴覚教材でも新たなデジタル表現を用いた作品が加わってくるであろう。それらも含め、幅広く視聴覚の教材を受け入れていくべきだと考える。